



2022-2023年度年次報告書

応援してくださったみなさまへ

Sodateage-Net Annual Report 2022-2023

2022年8月～2023年7月

当法人にご協力いただき、ありがとうございました。
おかげさまで、さまざまな活動を行うことができました。
ご報告をもって、御礼にかえさせていただきます。



〒190-0011 東京都立川市高松町 2-9-22 生活館ビル
TEL : 042-527-6051 / FAX : 042-548-1368
www.sodateage.net info@sodateage.net

Facebook : sodateage.net
X : @sodateagenet
Youtube : YouTubeチャンネル「育て上げネット」
instagram : sodateagenet
note : 育て上げネット広報チーム

私たちはいろいろな手段によって、寄付を募っています。
ぜひ、私たちのサイトをチェックしてください。



<https://www.sodateage.net/investment/>



大きな社会のうねりのなかで 地味で地道な活動を

本年も、私たち育て上げネットの活動を応援いただき、誠にありがとうございます。さまざまな影響下における物価高騰などが若い世代の生活を圧迫していることを、肌で感じる日々でした。また、さまざまな理由で孤立を深め、孤独とともにある若者の声をたくさん聴いた一年でもありました。

みなさまのあたたかな応援、ご寄付によって、たくさんの若者たちと出会うことができました。信頼関係を育むにも時間がかかる若者も多く、「働く」と「働き続ける」の実現に向かうにあたり、丁寧なかかわりと十分な時間をいただけています。心より感謝申し上げます。

変化し続ける社会にあって、これまでつながることができなかった若者たちとつながれる機会に恵まれました。



特にオンライン環境の充実で、物理的な距離にさいなまれることなく支援が提供できるようになりました。また、メタバースなどの言葉に代表されるよう、対面を望まない若者たちとの新しい「つながり」の方法にチャレンジすることができました。

インターネットやテクノロジーなど変化の速い領域を支援に活かす一方、地道な活動のご評価もいただきました。特に少年院の「中」での支援活動と、少年たちが出院した後の「外」での支援活動を接続する取り組みは、少年の数としては非常に限られており、少年の更生自立まで何年もの時間を要することがあります。そのような長く地味な活動に対して、内閣総理大臣より「令和 5 年安全安心なまちづくり関係功労者表彰」をいただきました。

これからも社会の変化を取り入れながら、地味でも地道なかかわりを継続していきます。若者は日本社会の未来を担う大切な存在です。みなさまのお力をいただきながら、若者たちのために活動していきます。引き続き、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

認定特定非営利活動法人育て上げネット
理事長 工藤 啓

●わたしたちのめざす社会

すべての若者が社会的所属を獲得し
「働く」と「働き続ける」を実現できる社会

●果たすべき使命

若者と社会／社会と若者をつなぐ

みなさまのご協力により 2022-2023年度は

のべ **92,555** 人(団体含) の人々を

支援することができました。(2022年8月～2023年7月)

ありがとうございました。



育て上げネットを支えるスタッフより———[支援者を支える支援者]

支援の前提は「社会」の側にある

2023 年には約 700 名の個人・団体・企業のみなさまから
若者を応援するお支援をいただきました。
寄付部門を担当するスタッフより御礼申し上げます。

[山崎] 育て上げネットでは、直接、子ども・若者を支える支援スタッフとは別にプロジェクトサポートオフィスという部門があります。支援に携わるスタッフが最大限そのスキルや経験を活かせるように事務的なことや情報システム、広報などのバックオフィスを担当する部署で私は寄付を担当しています。

私が入職した 2014 年当時、若者支援に向けられている社会の視線は厳しいものでした。「甘えている」「自己責任だ」という反応が多く、「若いだから大丈夫だろう」という声が大勢を占めていたと記憶しています。個人の方からのご寄付というのも非常に限られたものでありました。

しかし、今では世論の変化を強く感じます。特に、コロナ禍に陥ってからは教育や働き方が変わり、SNS ではヤングケアラやトー横という新しい生きづらさが顕在化しました。そして社会の側では人手不足による企業倒産が過去最多となり、「若者の自己責任」と無関心では自分たちも困ってしまう、そんな時代がやってきました。

「若者」が社会の関心事になりお問い合わせも増えるなかで「どうしたら若者を支えられるのかわからない」という声もよくいただきます。若者の生きづらは多様で複雑で、その微妙な違いで求められるプログラムも異なります。その結果、せっかく支援したいと考えてくださっているのに、何が若者にとって支えになるのかわかりづらくなっていました。その反省を受け、本年度からピンポイントに活動を支えてくださるよう

願いをはじめました。例えば「交通費がなくて就活できない」という若者のためのご寄付など、若者の困りごとによってすぐつながる寄付です。

この寄付を活用して若者に交通費の補助を提案したところ、「自分は落伍者で誰からも応援などしてもらえないと思っていた。ありがたいです」と躊躇していた就活に前向きになったという話がスタッフからあがってきました。

私は、私たちの活動には、若者を受け入れてくれる社会のあることが前提だと考えています。就活や受験にチャレンジしていると、どうしても失敗することもあります。「こんな自分は受け入れてもらえないのだ」と弱気になることもあるそうです。そんなとき厳しい言葉をかけてくる社会ではなくて、いっしょに応援してくれる社会があれば、若者たちも「また頑張ってみよう」と立ち上げられるのだと思います。

私はこれからも若者に「応援してくれる人がたくさんいるよ」と伝えます。みなさまといっしょに若者を支えていきます。



山崎 梓●やまざき あずさ

●広報・寄付を担当する窓口の人。
若者支援のことを日々学びながら
気づきやズレを言葉にして伝える。
寄付部門全般を担当。



社会的孤独に陥る人々が
増えている現状があります。

課題感が強まっている今こそ、
みなさんと一緒に支援していきたい。

生活品の高騰が著しく、子ども・若者の置かれている生活
そのものが危険な状態に陥っています。

支援を利用したくても、
そもそも生活ができないという声が常にあります。

「自分なんて社会に必要とされていない」
そう話す彼・彼女らに、社会のなかに
応援をしてくれる人がいることを伝えたいのです。

いただいた寄付は支援の無償提供や
食料配布等の生活支援に活用いたしますので、
ご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

25 歳の若者が 65 歳まで働き続けたら・・・



■税金を納めます（社会保険料等）
およそ 8,000 万円～1 億円

■使用した社会保障（医療介護、年金等）
およそ 4,000 万円～5,000 万円

Point

ひとりあたり 5,000 万円ほど税収が増えます

25 歳の若者が 65 歳まで生活保護を受けた場合・・・



■生活保護費
およそ 9,000 万円～1 億円
税金から支出されます

若者支援は社会に還元されていきます

税収増 5,000 万円 + 使わず済んだ生保費 9,000 ～ 1 億円 = 社会投資効果 最大 1.5 億円

クレジットカードでのご寄付

継続寄付 1 日 33 円～寄付できます。

右記 QR を読み取って
お手続きください。



都度寄付 思い立ったときに寄付できます。

右記 QR を読み取って
お手続きください。



継続型クラウドファンディング

貧困・困窮状態にある若者の「実費」を肩代わり

《実費》という見えない
コストが障壁となり、
社会とのつながりを
取り戻せない若者を
社会全体で応援して
いきませんか？



交通費・通信費等の負担ができない若者を応援してください

**少年院を出院した子どもたちに寄り添い
更生自立を支え続けるプロジェクト**

院内の支援から出院後まで、
更生自立を支え続けます。
未来を担う子どもたちの
更生自立をともに
支えてください。



少年院を出院した子どもたちに寄り添い
更生自立を支え続けるプロジェクト

育て上げネットは認定非営利活動法人です。育て上げネットへのご寄付は、
いただいた金額に応じて寄付金特別控除を受けることができます。



私たちは SDGs に基づいて
支援を行っています。

若年者就労基礎訓練プログラム

ジョブトレ

高校との連携強化
切れ目ない支えを実現

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



グループでの仕事体験を中心に働く自信を身につける「ジョブトレ」では、周辺にある高校との連携強化が進んでいます。進学も就職も決まらないまま卒業していく若者はそのまま社会から孤立する可能性が高まります。切れ目を作らず誰かと関わられるようにすることで孤立を防ぎます。

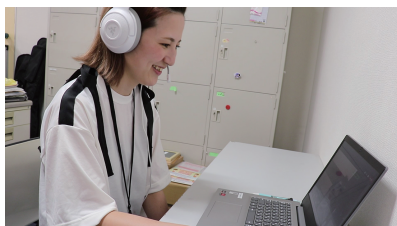


短期集中・自己理解
ニーズに合わせ拡大

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



全国どこからでも参加できるオンライン型のプログラムは若者からの声を受け種類を拡大。従来の相談・セミナーを中心にしたものに加え、6 日間の短期集中プログラム「クリエイティブ・トライ」や自己理解をテーマにした「シル・ミル・テミル」をスタートしました。



まなびタス

1 貧困を
なくそう



4 質の高い教育を
みんなに



体験格差は劣等感に
機会提供を寄付で実現

行政による学習支援によって日常の支えを行いながら、みなさまからのご支援のもとで多様な社会体験の提供を実現しました。長期休暇のキャンプや漢検、受験の模試などが実現でき、周りのみんなと同じ経験ができたことで、話題に取り残されず、劣等感を持たずに日々の生活を送ることができました。

子どもの将来 相談窓口



8 働きがいも
経済成長も



家族が楽になると
若者も楽になる

LINE登録が6,000 名を超え、多くの方にプログラムを知っていただく機会が増えています。活動から15 年を迎える 2024 年にはさらなるサービス拡大に向け、利用者へのアンケートやヒアリングを実施しました。支援の質を高め、幅広い悩みや困りごとを支えられる存在を目指しています。





リコーグループとタッグを組んだ
デジタル支援プログラムは
3年目を迎えました。

リコーグループの強みを活かした若者支援

リコーグループは「“はたらく”に歓びを」の使命を掲げています。社会貢献も使命に沿った活動をしようと、働くことに困難を抱える人を支援する「はたらく人のインクルージョン」という重点分野を3年前に設定しました。

企画のための調査をしていく中で若者の就労課題に着目し、育て上げネットの存在を知りました。リコーグループの強みであるデジタル支援や、社員を巻き込んだ事業が可能ということで、協働することに至りました。2021年の協働以来100名近くの社員が参加し、年々参加人数の輪は拡大しています。

「リコーにも自分と同じ人がいたんだと勇気をもらった」 という若者の言葉

これまで5回若者向けデジタル支援プログラムを実施しました。

若者には最初に自己紹介をしてもらうのですが、最初は照れて顔出しさえ躊躇する方がいらっしゃいます。でも最終日のプレゼンでは、皆さん二週間で学んだことを堂々とお話されていて、成長と変化に感動して勇気をもらっています。

社員とのトークセッションでは、実はひきこもっていたとか、メンタルを崩して休職していたという社員が、若者たちに自分の経験を語ります。どのように苦勞を乗り越えてたかという話は、我々にとっても学びになる部分が多いです。いつも多様な人が働いていることを実感しますが、参加者の若者から「話を聞いて前向きな気持ちになれた」「リコーにも自分と同じ人がいたんだと勇気をもらった」と言ってもらえて嬉しいです。

社員の経験談が若者の力になるならありがたいです。我々が意図していなかった価値を見出してもらっています。協働事業の醍醐味で、面白いと思います。

デジタル社会のなかで就労に困難を抱える若者の
“はたらく”への参画を支援しています。

リコーグループのご担当者、岡野麻衣子さん、赤堀久美子さんに
デジタル支援プログラムについてお話をうかがいました。

デジタル支援プログラムとは？

急速なデジタル社会の進展で、就労に困難を抱える若者に、リコーグループのリソースを活用したデジタル支援を実施し、若者の就労を目指すプログラムです。

昨年度は若者40名が参加し、参加者の81%がプログラムに参加することで「就労に向けて一歩踏み出す勇気が出た」と回答し、73%が参加後半年以内に就労や専門学校への入学など次のステップへ進みました。23年度はメタバースをテーマに、社員による講義・メタバース空間用のオブジェクト作成・メタバース空間の疑似体験を行い、次世代の働き方を体験しました。

ログインインタビューはnoteで公開中！



● 岡野 麻衣子さん

● 赤堀 久美子さん

私どもの活動に
ご支援ありがとうございます。

ご支援くださった方全員のお名前を掲載することはできませんが、
重ね重ね感謝いたします。法人・団体でのご支援をご紹介しますいただきます。



●金銭基礎教育プログラム
「マネーコネクション®」



●ステップ・キャンプ



●アトオシ・オンライン



●就労支援共同プロジェクト
「デバッグ・トレーニング(バグトレ)」



Microsoft ●Global Skills Initiative



RECRUIT ●「WORK FIT (ワークフィット)」プログラム



●若者向けデジタル支援プログラム
クリエイティブ・トライ



●ステップ・キャンプ



VALUE BOOKS



五十音順 敬称略

アクセンチュア株式会社
コーポレート・シチズンシップ推進室
就業力・起業力強化
Adobe Foundation
SBI 新生銀行グループ
デジタルハーツ
日本マイクロソフト株式会社
大阪マラソン組織委員会
株式会社リクルート WORK FIT
株式会社リコー
リコージャパン株式会社
ディースタンダード株式会社
NCR Foundation
キャタピラー財団

シティ・ファウンデーション
首都圏若者サポートネットワーク
宗教法人真如苑
株式会社星雲社
ソフトバンク株式会社
株式会社ツクルバ
東京マラソン財団
デロイトトーマツコンサルティング合同会社
Bytedance 株式会社
公益財団法人日本財団
公益財団法人日本フィランソロピック財団
公益社団法人日本フィランソロビー協会
一般財団法人日本民間公益活動連携機構
バーバリー・ジャパン株式会社

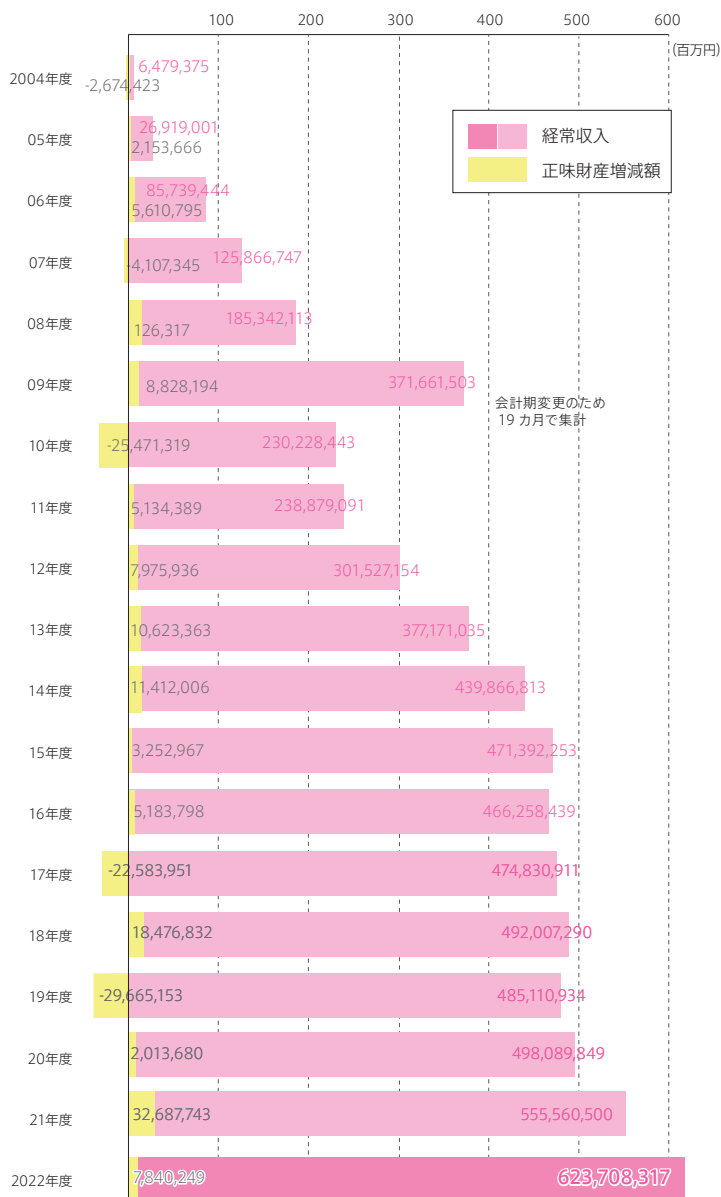
公益財団法人パブリックリソース財団
株式会社バリューブックス
独立行政法人福祉医療機構 (WAM)
藤原印刷株式会社
一般財団法人 三菱みらい育成財団
Yahoo! ネット募金
公益社団法人 ユニバーサル志縁センター
リンクトイン・ジャパン株式会社
READYFOR 株式会社
Lenovo Foundation
NPO 法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
UCB コミュニティ ヘルスファンド
岩井コスモ証券
NTT データ経営研究所

株式会社ジェイック
理容室ザンギリ
リコーリース株式会社
CB グループマネジメント株式会社
一般社団法人にっぽん福福
一般社団法人新しい贈与論
株式会社フェブ
株式会社 CAMPFIRE
株式会社 JTB ベネフィット
一般財団法人非営利組織評価センター
株式会社 Yogibo
マカイラ株式会社
こどもサポート証券ネット



会計報告

2022～2023年度の経常収入および正味財産増減額の推移

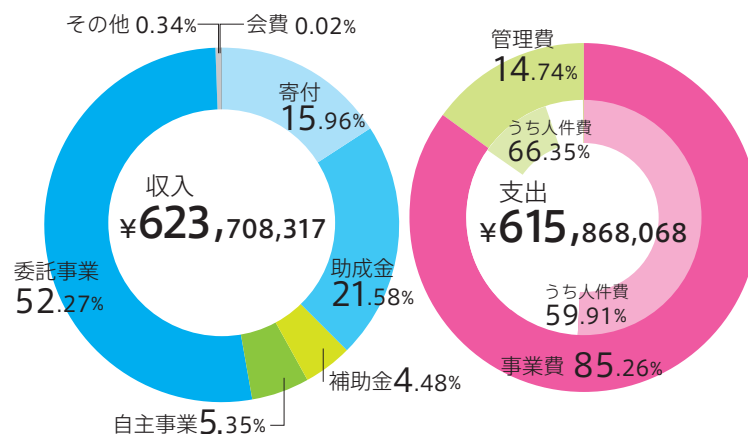


本年度におきましては、新たに東京都大田区の委託事業や Lenovo 社などとの助成金事業が始まり、結果、収入が過去最大の 623 百万円（前年比 112.3%）となりました。

支出面では、新たな事業受託に係る HP ページ制作等の広告宣伝費、協働事業に係る委託費や活動費等は増大しましたが、増収により黒字となりました。

すべての若者に出会う・つながる・選ばれることに注力するとともに新たな活動として、立川市と協働しふるさと納税を活用したクラウドファンディングを活用し、夜のユースセンターに係る費用の調達など若者を支える取組みに尽力してまいります。引き続き、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

2022～2023年度の収入・支出内訳



一般財団法人非営利組織評価センターが行う、組織ガバナンス認証の制度「グッドガバナンス認証」において、選考の結果、当法人はグッドガバナンス認証を受けることができました。

*2009年度は、会計期間変更（定款変更）のため、会計期間が19カ月あります。

*当法人の会計は、NPO 会計基準に基づくとともに毎月税理士による監査を受け入れ、適切に処理しています。